

当院のシンボルマークは、患者さまに対する「まごころ」を漢字の「心」で表現しています。

# まごころ

MAGOKORO



地方独立行政法人

## 下関市立市民病院

SHIMONOSEKI CITY HOSPITAL

2021年 vol.34



▲糖尿病は早期に適切な治療を行うことが重要です。当院では、患者さまのニーズやライフスタイルに合わせた治療を提案します。

### 特集 糖尿病の診療内容について

がん診療コーナー 化学療法と栄養

お知らせ 受診のススメ 病院はこわくない！ ほか

もっと知りたい 患者相談窓口

地域の絆 しものせき脳神経外科クリニック

水町内科消化器科医院

2021.9.1 下関市立市民病院広報年報委員会発行

下関市立市民病院

#### 基本理念

安心の優しい医療を提供し、  
市民から信頼される病院を目指します

#### 基本方針

- 市民のニーズに応じた最善の医療を提供します。
- 重点診療項目として、悪性疾患、救急及び生活習慣病に取り組みます。
- 安定した健全な病院経営を目指します。



▲糖尿病の治療には、看護師、管理栄養士、理学療法士、薬剤師、臨床工学技士などの多職種連携が不可欠です。チームで治療に取り組んでいます。

**特集**

# 糖尿病の 診療内容について

糖尿病内分泌代謝内科医長

伊奈 雄一郎  
いな ゆうじろう

はじめに

当院の糖尿病内分泌代謝内科は、4年前から非常勤医師による診療体制でした。そのため、糖尿病をもつ患者さまの教育入院や緊急対応などが不十分であり、市民の皆さまに大変ご不便をおかけしておりました。

2021年4月に伊奈が常勤医師として赴任し、教育入院や緊急対応が可能となりました。今回は糖尿病の診療内容についてご紹介したいと思います。

**糖尿病とは**

糖尿病とは、体内の血糖を下げるホルモンであるインスリンの量が低下したり、働きが悪くなったりした結果、血糖値が慢性的に高くなってしまう病気です。高血糖の状態を放置してしまうと、将来的に視力が低下し失明に至ったり、透析療法が必要となったり、神経障害で足に壊疽を起こし、切断術が必要となったり



してしまいます。したがって、糖尿病と診断されたら、早期に適切な治療を行うことが重要です。

## 糖尿病教育入院

当院では看護師、管理栄養士、理学療法士、薬剤師、臨床工学士などの専門的なスタッフによる教育が受けられる教育入院を行っております。教育入院のスケジュールは、12日間という短期間で組んであり、あまり長期間の入院ができない患者さまでも教育を受けることができます。また、様々なエコー検査や眼科検診などの検査も行い、合併症の進行についても調べる事が可能です。

現在は新型コロナウイルスの感染防止のため、糖尿病教室は開催できずしておりますが、今後は何らかの対策を講じた上で、行う方針としております。

糖尿病の治療は食事療法と運動療法、そして薬物療法が重要です。糖尿病の食事療法、運動療法はそれぞれ管理栄養士や理学療法士が、患者さまが無理なく続けていけるような内容の指導を行います。糖尿病のお薬は、近年次々と進歩しています。

尿から糖を排泄することにより血糖を低下させるお薬(SGLT-2阻害薬)や、インスリンとは異なり、1日1回や週に1回の注射で血糖を下げることができる注射薬(GLP-1受容体作動薬)などが使用できます。当院では患者さまの病態やニーズにあった治療内容を提案します。



▲上からGLP-1受容体作動薬(トリプティック®皮下注射)、オゼンピック®皮下注射、インスリン注射(フィアスフレックスタッチ)

## 血糖測定法の進化

糖尿病の治療は血糖を下げることが目的であるため、1型糖尿病を始め、特にインスリンを使用している患者さまは血糖測定を行うことが重要です。しかし、これまでの血糖測定は、指先を針で刺し、採取した血液からしか測れませんでした。またその時の血糖値しかわからず、その

血糖値が上昇しているのか、低下しているのかわかりませんでした。

FreeStyleリブレは腕に貼り、リーダーをかざすことによって皮下のグルコース値を測定することができます。正確には血糖値を直接測定するものではなく、間質液のグルコース濃度から血糖値を測定するため、若干の誤差はありますが、複雑な血糖測定を行うより非常に簡単に血糖を知ることができます。またグルコース値をグラフで表示できるため、血糖値の変動を目で見ることができます。

すべての1型糖尿病患者さまと、条件にあった2型糖尿病患者さまに保険適応で使用することが可能です。



▲FreeStyleリブレ

## 1型糖尿病患者さまへ

インスリンが絶対的に欠乏し、インスリン注射が必要な1型糖尿病患者さまに対し、当院では十分な対応ができる体制を整えています。

1型糖尿病患者さまの治療は、前述のような連続的にFreeStyleリブレだけでなく、自動的に血糖値を表示できるリアルタイムCGM(持続型グルコースモニタリング)も使用でき、また自動的にインスリンを注入できるインスリンポンプなど、国内で1型糖尿病患者さまに使用できるあらゆる治療を提供することが可能です。

## おわりに

当科では、これからも地域にお住まいの患者さまと医療関係者の皆さまに、最善の貢献ができるよう努めてまいりますので、糖尿病でお困りでしたら、お気軽にご相談ください。



▲インスリンポンプ

## 化学療法と栄養管理

がん患者さまの多くに体重減少がみられるといわれています。栄養状態が悪化すると、QOL(生活の質)が低下するだけでなく、化学療法の継続が困難になるなど、予後の悪化も懸念されます。

抗がん剤治療をされている患者さまに対して行う栄養指導は、治療の継続やQOLの維持・改善に貢献できる支持療法といわれています。

当院は高齢患者さまの割合が多く、様々な要因から栄養状態悪化の問題を抱える患者さまに対して適切な栄養管理を行うことは特に重要であるため、早期から積極的に関わっています。

## 栄養指導について

具体的な栄養指導の一例です。

■必要なエネルギー量、たんぱく質量と食品群別の目安摂取量の説明

■栄養バランスについて…特にアミノ酸スコア(たんぱく質の栄養価を示す指標)の高い食品の摂取の推奨。

■栄養状態に影響する有害事象が発生した際の食事の工夫について…当院オリジナルの食事の工夫や対処、症状別のレシピ集「サポめし」を使用します。

■栄養補助食品について…購入しやすいうちに、院内売店にて複数種類を取り扱い、食事摂取状況に応じて提案を行っています。

## サポめしについて

健康なときには当たり前だった食事の楽しみが損なわれてしまうことは、ご本人だけでなくご家族にとっても、つらいことであると思います。「食べられない」と悩む患者さまが少しでも多く、おいしく、食べられることを願い、栄養指導に使用する「サポめし」を作成しました。食事でお悩みの患者さま方の一助になれば幸いです。



<栄養管理部>  
主任 上口 竜也

### 【連載 エッセイ】

## リハビリテーションと栄養

### 栄養がリハビリテーションへもたらす影響

皆さま、〝リハ栄養〟という言葉葉を聞いたことがあるでしょうか？〝リハ栄養〟とは、リハビリと栄養を合わせた言葉です。適切な栄養管理とリハビリテーションを並行することで、障害者や高齢者の心身機能、日常生活活動、社会参加における効果が高まります。

栄養がなぜ必要なのか？と思われるかもしれませんが、入院中の方でも栄養状態が低下した方は多く、十分な栄養補給がないまま、リハビリテーションを行っても、効果が得られないどころか、逆効果になるともいわれているからです。

### リハ栄養班

今年度から、当院リハビリテーション部内でリハビリテーション栄養班(リハ栄養班)を立ち上げました。主な役割として、言語聴



言語聴覚士 うちだ ともひろ 内田 朋宏 (写真前列中央)  
栄養改善と身体機能の改善を行います。

覚士・理学療法士・作業療法士の専門性を活かした身体機能の把握(身体計測)、日常生活動作の確認、飲み込みの評価を行うことで低栄養患者さまの早期発見に努めています。その後、各病棟の管理栄養士、看護師に相談し、必要に応じて、より専門的なNST(栄養サポートチーム)につなげる活動をしています。

取り組みを始めたばかりですが、専門的な視点から栄養状態の把握を行い、低栄養患者さまの早期発見・早期介入を行うことで、入院患者さまのリハビリテーションがより効率的に進むよう頑張りたいと思います。







地域連携部  
患者相談室  
ひらの とし  
平野 淑美

患者相談窓口ではどのようなことを行っているのか教えてください。

患者相談窓口では、患者さまやご家族さまなどから、治療や退院後の生活に関することなど様々なご相談、その他ご意見をうかがっています。

安心・安全の医療を提供するために、院内の各部門の専門スタッフと、連携、協働して対応します。

もしどこに相談したらよいのかわからないことがある場合は、お気軽に患者相談窓口へお越しください。

また、患者さまやご家族さまの



▲毎週患者サポート体制カンファレンスを行っています。

他、地域の方など、どなたでもご利用いただけます。

ご相談は、患者相談窓口へ直接お越しいただく方法と、電話でうかがう方法があります。

場所は、本館1階⑥料金支払い窓口横「患者相談窓口」で、受付時間は午前8時30分から午後5時15分（土日祝日、年末年始を除く）相談は無料です。

仕事をしていくうえでどんな時にやりがいを感じますか？

患者さまが安心して通院や退院されている姿をお見かけすることは、仕事の励みにつながっています。

仕事をしていく上で大切にしていることは何ですか？

患者さまのご不安やご意見には、迅速に対応するようにしています。また、一人ひとり丁寧な対応を心がけています。

休日の過ごし方や、最近ハマっていることなどを教えてください。

公園の散歩など季節を感じることに、リフレッシュにつながっています。



▲カンファレンスでは、患者相談の報告を行い、情報を共有し対応の改善をしています。



看護部  
内科外来主任  
せきもと 関本 ゆかり  
由加里



糖尿病治療は、良好な血糖コントロールを維持し、合併症の発症及び進展を抑制することが大切です。また、健康人と変わらぬ社会活動を可能にするためには、患者さまと医療者が密接な連携をとり、治療目標を掲げ、自己管理をする必要があります。当院では、糖尿病の療養指導をするスタッフが在籍し、医師が指示する治療を患者さまが正しく実践できるように、又はその実践が困難になった場合に、支援する役割を担っています。患者さまやご家族の方々が、安心して必要な療養行動ができるように、個別性を重視して支援を行っています。

いつでも相談できる体制を整えておりますので、些細なことでもお尋ねください。



# 地域の絆

当院と連携している医療機関等を紹介します。  
登録医の先生と当院とは、患者さまの病状に合わせた治療が行えるよう、密接な関係をつくっています。

下関市立市民病院 地域連携室

電話：083-224-3860 FAX：083-224-3861

## しものせき脳神経外科クリニック

院長 えぐち ゆうき 江口 裕規 先生

### 我々の目指す診療

- ・MRI・CTによる初期診断を
- ・忙しい方への脳の健康診断を
- ・かかりつけ医との連携による脳疾患のサポートを
- ……我々が目指す医療です。



下関市立市民病院は、42年前に前身の中央病院時代に祖母を看取って頂き今も信頼しております。私の下関での診療はかれこれ27年になります。下関で4世代のご家族を拝診させて頂くこともあり、医者冥利に尽きます。育てて頂いた患者さんと諸先輩方に厚く御礼を申し上げます。私のライフワークは脳卒中で、前職までは基礎臨床研究・救急・手術を中心に走り続けて参りました。先人の活躍で、下関の脳神経外科は国内のトップランナーのひとつです。先輩方の功績を讃えその精神を継承するため「しものせき脳神経外科クリニック」と命名創設して10年になります。これからも初心を忘れずに日々の診療のため鍛錬していく所存です。スタッフ共々、何卒宜しく願いいたします。

〒751-0852 下関市熊野町1-7-6 TEL：083-251-1010 <脳神経外科>  
月・火・水・金：9:00～12:00、14:00～17:30 木・土：9:00～12:00（午後休診）

## 水町内科消化器科医院

院長 みづまち しゅうじ 水町 宗治 先生

平成16年11月1日より綾羅木にて開業しております。内科消化器科の他呼吸器科、循環器科も診療し、CTを置き小さな大病院を目標に日々の診療を行って参りました。当初は個人で開業、2年後に閉院した岳父の眼科の法人を継承し現在に至っております。私が市民病院に赴任したのは平成元年6月でした。

当時の泉田市長が市民のために24時間救急患者を受け入れる病院として開設されたと記憶しています。所属していた消化器内科は上部消化管出血、腸閉塞、急性胆嚢炎、閉塞性黄疸、急性肝炎劇症型など多くの救急の対応を行いながら毎日100人以上の外来患者様の診療をこなし、昼夜36時間労働の毎日でした。当時は、上部消化管内視鏡（年間）4500例、下部消化管内視鏡1000例、ERCP200～300例、EST30～40例と山口県内でも多数の症例を誇っていました。学会報告や論文などにも力を入れ、上部消化管出血に対する止血予測、GERDについて計3本のシンポジストに選ばれました。こういった業績も、各科垣根のない医局の雰囲気、そして懐の深い医局の先生方ならびにコメディカルの方々のおかげと思っています。また、大学から市民病院への出向の後輩たちも優秀な人材が多く、現在市内総合病院センター長、市内総合病院院長、大学医学部教授と各自精進されたことを誇らしく思っております。

今後はより一層、地域医療に精進し、このコロナ禍が一日も早く終息することを願いながら日々微力ながら努力したいと思っております。



〒751-0849 下関市綾羅木本町4丁目1-30 TEL：083-251-6116 <内科・消化器科・呼吸器科・循環器科>  
月・火・水・金：9:00～12:30、14:00～18:00 木：9:00～12:30 土：9:00～13:00（午後休診）

# 外来診療のご案内

2021年 8月1日現在 (※)…非常勤医師

診療科		曜日	月	火	水	木	金
内科・消化器内科			貫陽一郎/山本翔太	野坂佳愛	貫陽一郎	野坂佳愛	山本翔太
内科・呼吸器内科			川口貴子(※)(午前)				花香哲也(※)(午前)
内科・循環器内科			金子武生/野田裕剛	金子武生/福壽亮仁	安田潮人	辛島詠士	辛島詠士/有馬岳史
禁煙外来(午後・予約制)					金子武生		
内科・腎臓内科				坂井尚二	内田裕士(※)(第1・第3・第5) 北村博雅(※)(第2・第4)	坂井尚二 吉村潤子(※)(午後)	前田大登(※)
内科・血液内科				久保安孝		久保安孝	
内科 リウマチ膠原病内科			大田俊一郎 甲斐達也(※)(午前)	大田俊一郎 (地域連携室紹介のみ)	大田俊一郎 真弓武仁(※)(午後予約のみ)	福元遼(※)(午前)	大田俊一郎
糖尿病内分泌代謝内科(午前中)				伊奈雄二郎 (糖尿病内科のみ)	伊奈雄二郎 (午前 糖尿病内科のみ)	伊奈雄二郎 (糖尿病内科のみ)	
神経内科(午前中・予約制)					本田真也(※)		
精神科					原正吾(※)		
心臓血管外科				上野安孝/松山翔		上野安孝/栗栖和宏	
外科	午前		石光寿幸/宮竹英志 川地眸	石光寿幸 中原千尋	大谷和広 宮竹英志	田村徹郎	石光寿幸 大谷和広
	午後		院長外来(院外紹介)/宮竹英志 乳腺外来 川地眸(地域連携室紹介のみ)	乳腺外来 石光寿幸 中原千尋	大谷和広	ストーマ外来(第2・第4) 田村徹郎	乳腺外来 石光寿幸 大谷和広 ストーマ外来(新患)第2・第4
				吉田順一(要相談)	吉田順一(要相談)	吉田順一(要相談)	吉田順一(要相談)
呼吸器・感染症外来(呼吸器外科)			吉田順一(要相談)	吉田順一(要相談)	吉田順一(要相談)	吉田順一(要相談)	吉田順一
呼吸器腫瘍センター(呼吸器外科)				井上政昭		井上政昭/橋本鉄平	井上政昭(予約のみ) 名部裕介
脳神経外科			中村隆治/尾中貞夫	中村隆治/桶谷英司	中村隆治/尾中貞夫		中村隆治/尾中貞夫 桶谷英司(午後)
整形外科	再診		大崎祐一郎/木戸麻理子	太田浩二/井上逸人	山下彰久(午前) 江崎克樹	原田岳/橋川和弘	渡邊哲也/岸川準 白澤建藏(※)
	新患		太田浩二	渡邊哲也 江崎克樹	山下彰久(午後) 原田岳/岸川準	山下彰久(午前) 大崎祐一郎	橋川和弘 白澤建藏(※)(午前)
診療科	一診(初診)		原宏二	藤井央法	吉弘悟	藤井央法	吉弘悟
	二診(予約のみ)		藤井央法	吉弘悟	藤井央法	吉弘悟	原宏二
眼科			石村良嗣(午前中)	石村良嗣(午前中)	石村良嗣(午前中)	石村良嗣(午前中) ロービジョン外来(第4午後)	石村良嗣(午前中)
放射線診断科				山砥茂也			
放射線治療科			有賀美佐子	有賀美佐子	有賀美佐子	有賀美佐子(午前のみ)	有賀美佐子
小児科	小児科						
	午前 予約制			河野祥二(※)			
	午後 予約制			河野祥二(※)	河野祥二(※)	河野祥二(※)	大賀由紀(※)(不定期)
小児外科					綿野友美(※)(不定期) 亀井一輝/九大派遣医師(※)	中村晶俊(※)(第2・第4午後)	
産婦人科	午前(一般外来)		前田博敬(第1・第3・第5) 川崎憲欣(※)(第2・第4)	前田博敬	前田博敬	前田博敬	
	午後(更年期外来)			前田博敬(予約のみ)			
疼痛外来 ペインクリニック内科			藤原義樹		藤原義樹		藤原義樹 門脇史宜(※)
皮膚科			内田寛 午後の外来は13~14時受付	内田寛	内田寛 午後の外来は13~14時受付	内田寛 午後:手術	内田寛 午後の外来は13~14時受付
耳鼻咽喉科			平俊明 伊藤彩(※)	平俊明 木田裕太郎	平俊明 伊藤彩(※)	平俊明 木田裕太郎	平俊明 木田裕太郎
歯科・歯科口腔外科			上原雅隆 細井俊輔	上原雅隆/細井俊輔 長畑佐和子	上原雅隆/細井俊輔 入学陽一(※)(予約のみ)	上原雅隆/細井俊輔 長畑佐和子	上原雅隆 細井俊輔
緩和ケア外来				牧野一郎(午前中)(予約制)		関千尋(午前中)(予約制)	
救急科(午前・午後)			中原千尋	尾中貞夫	中原千尋	中原千尋/尾中貞夫	中原千尋

- ◆糖尿病教室(要予約:内科外来にお問い合わせください。)
- ◆ペースメーカー外来(内科外来:要予約) 毎月第3月曜日13:00~15:00(第3月曜日が休日の場合は第4月曜日)
- ◆ロービジョン外来(眼科外来:要予約) 視覚に障害があるため生活に何らかの支障を来している方への支援
- ◆整形外科は再診・新患ともに完全予約制です。急患はご相談ください。

病院の最新情報は  
こちらから



地方独立行政法人  
**下関市立市民病院**  
SHIMONOSEKI CITY HOSPITAL

〒750-8520 下関市向洋町一丁目13番1号  
TEL:083-231-4111(代表) FAX:083-224-3838  
ホームページアドレス <https://shimonosekicity-hosp.jp/>  
地域連携室(紹介予約) 専用TEL:083-224-3860 専用FAX:083-224-3861



禁煙外来を行っています。当院は敷地内禁煙です。ご協力をお願いします。